

各地でヤシオマスの種苗が生産されています

栃木県のブランド魚「ヤシオマス」は年間 100 トン以上生産されており、その種卵の採卵が毎年 11 月から 12 月にかけて行われます。今年は 3 か所の生産者のもとで、約 120 万粒の受精卵が生産されました。水産試験場では、生産者を訪問し、ニジマスの卵を温度処理してヤシオマスにする技術指導を行いました。



おなかに空気を入れて効率よく採卵します。
採卵した魚からは、来年も卵をとることが出来ます。



卵に精子をかけて受精させます。
まんべんなくかけるのがコツです。



地下水で 10 分間吸水させた後、
28℃のぬるま湯に 15 分間浸します。
決まった時間に正確な温度処理を
しなければなりません。



卵を筒型のふ化槽に入れ、ふ化するまで管理します。
ふ化まではおよそ 1 ヶ月かかります。
ふ化後は、栃木県内の生産者のもとで大切に育てられ
2～3 年で食用出荷されます。